

真皆処立自主作随

題字 隨処作主立処皆真 揮毫 北宇和教育会OB 松浦 亀 解説は3面



発行所
(公財)愛媛県教育会
〒790-8545
松山市祝谷町1丁目5-33
エスポワール愛媛文教会館内
電話 (089) 945-8644
FAX (089) 945-1459
URL <http://www.ehime-kyoukukai.jp>

謹賀新年

(公財)愛媛県教育会
理事長 田鍋 修
役職員一同



『公益財団としての
新たなスタート』
人を思いやる利他の心で

公益財団法人愛媛県教育会
理事長 田鍋 修

新年明けましておめでとう
ございます。
今年「癸巳」年。「巳」は
執着心が強く、情熱的で、助け
てくれた恩人には忘れず恩返
しをすると言われていきます。
昨年、被災地の学校に会員
の皆さんの総意で、教育会が
作成したドリルや学習帳をお
贈りしました。大変喜ばれ、
早速「心の絆に感謝！ 私た
ちは忘れません。ありがと
うございました。」のメッセージ
が宮城県の中学校から届きま
した。被災地の学校が、一日も
早く安心・安全な環境で、健や
かな学びを取り戻せますよう
心から願うものであります。
さて、昭和四十六年から財
団法人の道を進んできました
教育会は、「この度「公益法人」

の認定が下り、この一月八日
から「公益財団法人愛媛県教
育会」として新たにスタート
することとなりました。法人
制度改革の意味を考えると
き、我々の生き方や会への意
識の変革が強く求められてい
る気がいたします。
ところで、子どもの成長や
人格形成に深く関わっている
現職の先生方は、子どもたち
に何を授け、どんな人間教育
をしていくかとグラウンドデザ
インを描いておられますか。
また第一線を退かれた先輩の
先生方は、どんな教育信念を
持ち、人生哲学を掲げ日々実
践行動されておられますか。
あの稲盛和夫氏は、「事業
の利益は社会貢献に使え。」
を人生哲学に稲盛財団を立ち

上げ、芸術などで多大な貢献
を果たした人々を顕彰し、
未来を拓く人材の養成に役立
てています。また同氏は、「世
のため人のために役立つこと
を成すことが、人間として最
高の行為である。これからの
日本と日本人の根本に据える
べき哲学は、『足るを知る』
という生き方である。その心
がもたらす感謝と謙虚さをベ
ースにした他人を思いやる
『利他』の行いである。」と
した上で、「日本よ『富国
徳』を国是とせよ。」と著書
『生き方』の中で力強く述べ
ておられます。

公益法人の在るべき姿、教
育会の目指す方向の指標とな
る貴重な教えと拝読しました。
今後とも一層、社会全体の
教育力の向上や教育の質を高
め、そして子どもたちの幸せ
な成長という志の高い公益性
を追求して参りたいと考えて
おります。よろしく御支援御
協力をお願いし、新年のごあ
いさつといたします。



(大倉可貴先生・画)

聞きょう響

『一つの言葉で喧嘩して 一つの言葉で仲直り 一つの言葉で頭がさがり 一つの言葉で笑いあい』
この「言葉は心」という詩は、映画「男はつらいよ」の舞台「とらや」の茶の間に貼ってあったが、現在は寅さん記念館に展示されている▼また、「淀川長治の遺言」や宗教家・伊奈教雄さんの「風の声・竹の声」の中にも出ているが、作者は不明で口コミで広がったためかいろいろなバージョンが存在する▼メール等の発達で言葉のやりとりを大切にしない傾向や「キモい」「ウザい」「死ぬ」などと人を傷つける言葉を平気で遣う若者がいるが、そのような言葉を耳にすると、悲しく暗い気持ちになる▼大人自らが、「二つの言葉にはそれぞれ心がある」ことを肝に銘じて、一つひとつの言葉を大切にするとともに、言葉がどんな意味を持っているか、その場その場できちんと指導することが、優しい心を育て、よりよい人間関係を構築することになる。

ひとこと

少子高齢社会の
中の学校



愛媛県小中学校長会
副会長
松坂 純子

氏と校長・田鍋修氏の英断には感服の至りです。

本校の子どもは優しく思いやりがあるとよく言われますが、その要因の一つに、高齢者福祉施設「いきがい交流センターしみず」の高齢者の方々との交流があることは明らかです。

清水っ子たちは、休み時間や給食時の日常的なつながりをもとより、生活科や総合的な学習の時間等において、高齢者の方々のお知恵や経験に学ばせていただく学習が年間二十活動以上あります。

私たち教員も、高齢者の皆様と仲よくなりたいと、夏休みに、俳句甲子園大会やトーンチャイム演奏会を実施し、絆を深めています。そして、自らの年の重ね方のお手本にさせていたただいています。

平均年齢八十ウン歳の高齢者の皆様は、子どもたちに生きるエネルギーをもらい、子どもたちに見守られている気がするとおっしゃいます。

本校は、「もうひとつの家族づくり」を進めることのできる幸せな学校だと思います。

(松山市立清水小学校長)

学校紹介

No.135

今治市立美須賀中学校

美須賀中学校

まさかこの学校がなくなるなんて、夢にも思わなかった。この感慨は、おそらくわたしだけのものではないだろう。

戦後、「今治第一中学校」の名前で設立された「美須賀中学校」は、本年度をもって十六年の輝かしい伝統に幕を下ろすことになった。

卒業生ではないのだが、今治の地で学齢期を過ごした自分にとって、「美須賀」の名はひとつのブランドだった。勢いがあった。活気があった。やんちゃでもあった。高校で出会った美須賀出身の友達に妙にパワフルだった。そんな美須賀中学校が閉校するなんて、正直今でも信じられない。

「そうじ・あいさつ今治」をめざし、毎朝生徒が正門に立って大きな声であいさつを交わす。地域や学校のトイレの便器に、ためらうことなく素手をつっこみ、心を込めてぴかぴかに磨き上げる。元祖

日本大に負けない力強さと迫力で、全校生徒が糸乱れぬ集団行動を成功させ、最後はお城の天守閣に向かって声を張り上げ校歌を絶叫する。こんなナイスな学校は、日本中どこを探してもないだろう。美須賀中が閉校になることは、本当に寂しく残念である。しかし、この最後の一年間を、愛すべき一〇四名の生徒たちとともに、心から笑い、本気で怒り、多くの感動体験を共有できたことは、とても幸せだった。そして、抜群の包容



お城に見守られて

力で我々を支えてくれる懐深い美須賀中最後の校長先生、おおらかで頼りがいのある美須賀中最後の教頭先生、熱意と誠意と怪しさを兼ね備え、打ち合わせなしの爆笑漫才までこなす「最良にして最高のメンバー」と断言できる美須賀中最後の同僚たちと過ごせて、この上なく幸せだったと思う。学校がなくなっても、幾多の卒業生や在校生が、ここで多くの出会いや学びを得た歴史は、決して消えない。この拙文を読んでくださる方へ。どうか、「みすか」という美しい響きを持つ中学校があつたこと、お城のふもとに数々の青春ドラマが生まれたことを、ほんのひとつき、記憶の片隅にとどめてほしい。

最後に、愛する美須賀中学校へ。この場所ですごせてわたしたちは本当に幸せだったよ。ありがとう、そしてさよなら。

(教諭 村上 良子)

題字に寄せて

随処作主立処皆真



北宇和教育会 O B 松浦 亀

これは禅語で臨済宗の祖、臨済禅師の教えです。「自分の置かれた場所での隙の無いよう精いっぱいやるなら、真実のいのちに巡り合い、主体性のあるところ生き甲斐が生ずる」と説かれています。

此のことは玉川学園学長小原国芳先生から直接学長室に呼ばれ頂戴しましたのは通信教育でスクーリングに行っていた時です。小原先生は、学園の教授酒井哲夫先生と御親交が深く、度々鬼北地方へ講演にお出でいただいておりました。その関係から同郷である私を励ましてくださったのでしよう。

この感激は強く、帰校後墨書して生徒に話しました。未だに忘れ得ぬ有難い教えです。

ふるさとに生きる

市井の人として



柴中雪子先生

残暑の厳しい九月上旬、先生活のお宅を訪ねました。

手入れの行き届いた庭、ゆったりとして穏やかな雰囲気の中、応接間へ案内していただきました。お茶を勧められるままにいただき、至福の時を満喫。心満たされた時を共有させていただきながらお話を伺うことが出来ました。

今年で退職後二十三年目。退職後は「市井の人として、この土地で地域の人たちと共に生きていこう」と考えられたそうです。

七十歳の時、勲五等瑞宝章の叙勲の栄に浴されました。

その頃までの十年間は、退職の頃からのPTAコーラス活動が地域に根つき、体調を

訪問者

久保田 敏 幸
菊地 若 江

(大洲市教育会OB)

崩されてタクトが振れなくなるまで続けてこられたそうです。

体調回復後間もなく、地域の方からお茶の指導をと声を掛けられ、体調のことも考えて月一回程度なら引き受けられたそうです。初めは、自分の命があることへの感謝の気持ちで：とスタートされたものが、現在までずっと続き、毎年一回催されるお茶会も今年で十二回目になるそうです。

先生は「お茶は特別なものではなくて、日常の生活に生かしていかなければ意味がありません。」と話され、お茶の心が日常生活に自然に現れてくるような指導を心掛けておられることがうかがえました。

No. 69

先生の人間の魅力に引き寄せられて集う地域の人たちを快く受け入れ、地域文化の向上に深くかかわってこられたお姿が見えるようです。

「徳は孤ならず必ず隣あり」という言葉がありますが、まさに先生の内面からにじみ出る人柄に、地域の人たちは引き寄せられ、集い、それが人の輪となつて広がっていったのだなと実感させられました。

「市井の人として地域の人たちと共に生きていく」というスタンスを貫かれ、地域文化の向上に多大な貢献をされている先生の生き方に深い感銘を覚えました。



また、ソロプチミストの多彩な活動や俳句活動にも参加され、多忙な日々を過ごされているそうです。

「とにかく一生懸命生きること。迷惑を掛けず、自分が役に立つことがあれば出来る限りしていきたい。」と語られるお姿からは、生きることへの闘志さえ伝わってきました。

柴中先生、これからも地域の人たちと共に、ますますお元気で活躍ください。

柴中雪子先生 (83歳)
(大洲市在住)

愛媛県学校生活協同組合連合会

ホームページ好評稼働中！

<http://www.ehime-gakuseikyou.jp/index.jsp>

2010年9月に開設したホームページです
各事業分野、是非ご覧ください

特集 私の夢―新年への抱負―

「こなす」を越えて



愛媛大学教育学部附属中
教諭 河野 圭美

葉を見てみると、数年前にベストセラーになった『葉っぱのフレディ』という絵本を思い出しました。命について、死について、生きることについて考えさせられる一冊です。

附属中学校に赴任して一年目、この学校の中に好きな景色があります。グラウンドに植えられた木々の紅葉は、まるで観光地にいるかと思うほどの美しさです。鮮やかに色づいた木々を見る度、すがすがしい気持ちになります。

一枚一枚の葉の色や形は、精一杯生きた証です。教員になって八年目。私は輝きを放つ落ち葉のような生き方ができているのだろうか。今までは仕事を「こなす」ことに苦心していたような気がしますが、面倒だなと思うこと、嫌なこと、どれほど心を込めて仕事をしていたらどうか、と反省させられます。

じゆうたんを敷き詰めたような落ち葉を掃き集めるとき、それらの葉の魅力に引き込まれます。枝から離れてしまった葉ですが、一枚一枚が輝いています。それぞれに形があつて色があります。一枚の葉の中にも微妙な色の変化があるのです。様々な環境や、自然現象の変化をくぐり抜けて生まれた色や形なのでしょ

う。今年是与えられたことに意味を見出す努力をし、「こなす」ことに精一杯になるのではなく、少しでも丁寧に仕上げていくことを目標にしたいと思えます。一枚の落ち葉が私に教えてくれました。

新年の抱負



小曾根市中
教諭 和田 郁

教員生活四年目となる今年、私の目標は三つあります。

一つ目は、「自分で課題を見つけて研究する。」ということです。一年目は生活に慣れることや目の前にあることをこなすのに精一杯でしたが、二年目にフォロワーアップ研修で焦点を絞って研究に取り組むことの楽しさを感じる事ができました。しかし、三年目は研究したい課題を絞りきれず、長期的な実践研究ができませんでした。今年、学級経営に関して課題を見つけ、自分なりに研究に取り組みたいと思っています。

二つ目は、「弓道の射を磨く。」ということです。高校・大学と続けていた弓道を昨年になって再開しました。仕事以外に新たなコミュニティや目標ができたことで、生活に

ています。「悔しい」という気持ちも久しぶりに味わったような気がします。試合や昇段審査にも積極的に挑戦する一年にしたいと思っています。

三つ目は、「思いやりをもって行動する。」ということだと思います。この三年間、本当に多くの人からたくさんのお褒めをいただきました。今年はいまだに余裕をもって、今まで自分がそうしてもらったように、誰かに優しさを伝えられるような人になりたいです。

この三つの目標を心に留めて実行し、今まで以上に自分にとって成長のある一年にできるような努力していきたいと思えます。

私の願い



小久枝市
養護教諭 平岡 洋子

子ができはじめる時期の意味を表す「巳」の年、快い緊張を感じる中で、これからの自分の願いについて考えてみた。

一つ目は、自分のささやかなこれまでに実践してきた保健活動を、少しずつ整理し、拙いながらも、まとめていくこと。そして、これからの学びや生き方の方向性を見つけていきたいと思う。

二つ目は、人の絆を強めていくこと。市教研の役を受けさせていただいたとき、養護教諭の諸先輩方にお会いすることが、一度もなかった。そのことが、とても寂しく感じられた。先輩で、愛媛の養護教諭のリーダーとして活躍され、今もなお、研鑽を積み重ね指導支援をされている矢野美恵子先生も、退職後に「養護教諭同士がつながり合う場」

のないことを大変残念に思われている。先生のお力添えや仲間の知恵を得て、退職された先輩方とのつながりを生み出す方策を、考えたいと思う。

養護教諭として、早三十? 年目の春を迎える。植物に種

三つ目は、心身の健康を保つこと。若いとき、千人を超

す中学校に勤務したとき、養護教諭にとり、何より「体力」が求められると実感した（保健室に居ること）。そのとき、ランナーである主人から、走る楽しさを教えてもらった。途中子育て等に追われ、まだフルマラソンにチャレンジできていない。主人と手を繋ぎながら、ゴールできる日を夢見て、気負わず、焦らず、体力づくりに努め、元気で支え合える夫婦でいられたらと願っている。

新年の抱負



小町大市条西
教諭 論野
河野 寛詔

講師時代も含め、私が「先生」と呼ばれる仕事に就いて

十年になる。最初に担任させていただいた小学二年生の子どもたちも、もうすぐ高校を卒業する。今より知識も脂肪も少なかった当時、新しい体験の連続で、日々悪戦苦闘していた。しかし、毎日体当たりでの挑戦を楽しんでいた。そんな私も三年前に教員採用試験に合格し、素敵な妻と巡り合うことができた。また、一昨年には待望の第一子を授かり、昔から描いていた大きな夢を叶えることができた。今年度は、学校では初めての高学年担任と体育主任、家庭では初めての育児と新しい体験ばかりであった。毎日が慌ただしく過ぎ、次々と与えられた仕事をこなすことで一杯であった。学校の子どもと休み時間に遊んだり、自分の趣味に割いたりする時間は

ほとんどなくなっていた。

そこで、今年の抱負は「原点回帰」としたい。かつての講師時代のように新しいことにも意欲的に挑戦し、もっと子どもと体当たりで接するようにならなりたいと思う。

その第一歩として今年度は、減量に着手してみたい。この数年でお腹の脂肪は増えに増え、十年前より体重は十五キロアップ。スタミナは半分以下にダウンしてしまった。休み時間をもっと外へ出たり、一時中断していたスポーツを再開したりして、動ける体づくりをしていきたい。

息子と十年後一緒にバスケットボールをすること、それが今の私の夢である。

私の希望・抱負



小町大市伊方
校長 照夫
二宮 照夫

教員が不祥事を起こすたびに「先生は、新聞に出そうであんなあ。」とか「先生は、

他の職業の方が出世しとるなあ（私自身は出世願望はないが）。「不名誉な事を地域や保護者の方たちから言われ、「私は、教師らしくないのか。」と自問自答していたら、定年退職まで四か月あまりとなっていました。」

確かに退職したら何をしようかわくわくしながら想像すると、夢や希望が入道雲のようになり、もくもくとわき上がってくる。

しかし、実際にはだらだらと小さな玉転がしにホールへ毎日通い、食っては寝るとい生活で、糖尿病になり早死にしそうな予感がする。

ただ次の二つは、必ず実行しようと思っている。

一つ目は、ここ六年まともな休みが取れず家内の故郷、北海道へ行っていないので、一・二か月里帰りして（家内は、毎年三週間帰省）親孝行をしっかり実践したい。二つ目は、今後も継続して、掃除や洗濯など家事を手伝うことだ。十数年前に家内が病気になる時、家内の支えがあつて現在の自分があるのだ

と再認識した。「一日でも一緒にいたい。」と思った時、自分が家内にできることは何だろうと考えた結果、始めたことである。

そして、人生の終着駅が見えた時、お互いに幸せだったと言って最期を迎えたい。テレビでよく見る「人生の楽園」のようなドラマティックなものではなく、ささやかな希望や抱負だが、四国まで嫁いで来てくれた家内を大事にした生活に心がけたい。

謹賀新年



新しい年が皆さまにとりまして、良い一年でありますように！

教職員共済生活協同組合 愛媛県事業所

〒790-8545 松山市祝谷町 1-5-33 IWA*ワール愛媛文教会館 3F
TEL 089-998-2141 <http://www.kyousyokuin.or.jp/>

第64回日連教呉大会記念講演(昨年八月開催)

演題 「この国とこの星と子どもたち」

JAXA名誉教授

大和ミュージアム名誉館長

的川 泰宣 先生

報告者


 小清水清山市
 教頭
 鈴木 智光

争中に生まれ、戦後の混乱期を過ごした私には「みんなが幸せである社会」を望む心がその時生まれた。

人の最初の記憶は三歳頃からという。私の場合は、昭和二十年七月、呉大空襲の炎の中を逃げる母の背中である。小学一年の時、呉に進駐した兵隊がジープからまくチョコレートを、後ろめたさを感じながら、拾って食べた。ある日、たくさん拾ったので家に持ち帰った。いつもは温厚な父が、今までに見せたことのない形相で「日本人の矜持だ」と私を叱りとばした。言葉の意味はわからずとも、父の形相は強く私の心に残った。戦

そうではない。夏の大三角形デネブ、ベガ、アルタイルは、それぞれ、地球から千六百万年、二十五光年、十七光年の宇宙にあると知り、星の位置を立体的にイメージするようになった。同時に、「数十億光年の奥行きにどこまでも分け入っていききたい衝動」に駆られた。

る先に、未来の日本の宇宙開発の姿が映っていた。半世紀以上前のペンシルロケットが日本の宇宙開発のスタートである。東大に進学した私は、糸川博士と出会い、人工衛星「おおすみ」、彗星探査機「さきがけ」「すいせい」などの開発に関わった。

二〇一〇年、世界初の技術を七つも組み込んだ小惑星探査機「はやぶさ」が数々の困難を乗り越え、七年の宇宙の旅から帰還。私もこのプロジェクトの一員として「はやぶさ」の帰還から帰還までを見つめてきた。「はやぶさ」は日本の科学と技術と心の到達点である。

あることに気づいた。それが不思議でたまらない。それを解き明かしたく、白い板に重りをつけて海に少しずつ沈めてみた。沈むにつれ、白い板を背景に水の青さが増す。子ども心に不思議を解き明かした満足感があった。夜釣りに行った時、星の美しさに魅せられた。輝く星々は星座を形づくり、星空にギリシャ神話という壮大な物語が繰り広げられ、感激した。また、平面でとらえていた星座も、実は

この心とは何か。昨年の東日本大震災、なでしこジャパンのW杯優勝、今年のロンドンオリンピックの日本人選手の活躍。これらは、決して無関係ではない。日本人としての心、ものの感じ方が表れている。大震災では、日本人の行動や考え方が世界から絶賛された。精神性の高さ、そして、小さな列島で育まれた

「和」の心。金子みすゞの詩「私と小鳥と鈴と」に、日本人の心の普遍性が表れている。詩「大漁」からは、生き物に対する思い、「いのち」の意味を考えさせられる。

「いのちの大切さ」を土台とし、その上に「知りたい心(好奇心)」「行きたい心(冒険心)」「創りたい心(匠の心)」があり、幼い時代の共感と感動が未来を創る。身の回りの野菜、虹、色など身近な素材や現象にも子どもは興味を示す。子ども時代は人生について最も大事なものをつくる時期。子どもの心に変化が訪れ、価値観ができるのは統計的に小学校五年生だといわれる。この時、心に火がつかどうかである。

「平凡な教師はおしゃべりをする。よい教師は説明をする。優秀な教師はやってみせる。しかし、最高の教師は子ども心に火をつける。」(ウイリアム・ウォード) 子ども心に火をつけるには周りにいる大人の関わりがとても大事である。

ふるさとステッチ

No.352

谷上山さん



伊予市港南中 教諭 渡邊 寿美

教室の窓から谷上山が見える母校は、新校舎になって七年目を迎えるようとしています。新校舎ができる際に、工事関係者の方が「生まれたての赤ちゃんと同じです。大切に



育ててください。」とお話ししていただいたことが心に残っています。旧校舎で残っ

ご冥福をお祈りします

Table with 4 columns: Name, Age, Address, and Date of Death. Includes names like 松野木恒幸様, 浅井 宝元様, etc.

ローカルトピックス

霜村温泉

「霜村温泉って、ご存じでしょうか。」 この温泉は、正式には、「町老人保養センター清水荘」ですが、地元の歯科医、故霜村静夫さんから建設費を寄付していただいたことから、そう呼ばれています。平成十五年に、高齢者の介護予防事業を



推進するため、施設のバリアフリー化が図られました。ところで、この温泉は、昭和五十四年に開設されました。四百メートルほど先の川べりにわく冷泉を引き込んだ天然温泉です。泉質は、低張性アルカリ性冷鉱泉です。

祝 受章・受賞おめでとうございます

Table listing award recipients and their titles. Includes 瑞宝双光章 (高齢者叙勲) and 教育者文部科学大臣表彰.

コスモSカードご入会のおすすめ

上記の制度にご入会いただきますと、カード会員価格でガソリン・軽油を県内はもちろん、全国のコスモ給油網(全国6,700ヶ所)において、カードで共通利用できます。

愛媛県学校生活協同組合連合会 電話(089)925-0555 又は、郡市学校生活協同組合

最も驚くのは、利用料金が何と、大人百円・小人五十円というワンコイン温泉ということ。ひよっとして、日本一安い公共の温泉かもしれません。地域の方々にとっては、クロッキーや散歩帰りに汗を流す憩いの場所です。この静かなたたずまいの霜村温泉へ、一度立ち寄ってみてはいかがでしょうか。 文教月報編集協力委員 鬼北町立愛治小教頭 古谷 久代

「公益財団法人愛媛県教育会」誕生！

昨年三月に公益法人移行の申請を行っていた愛媛県教育会は、やっと十一月に愛媛県公益認定等審議会から認定の答申を受け、公益認定を取得しました。本年一月八日付で公益財団法人の設立登記を行い、新たなスタートをきります。

今後本県の教育・芸術・文化の振興と発展に寄与することを旨として、会のさらなる発展・向上に努めてまいります。

なお、従来の寄附行為は廃止し、新たな愛媛県教育会定款（「文教月報五月号」参照）に基づいて本会を運営します。新役員（評議員、理事、監事）は本紙五面のとおりです。

「えひめ教育の日」推進大会

十一月一日（木）、文教会館で「えひめ教育の日」推進大会を開催。田鍋会長あいさつに続き、教育の日関連写真や「親子のふれあい・つながり」のポスター・作文等の優秀作品の表彰、新居浜教育会の実践報告を行った。また、日本学

校心理士会長石隈利紀氏による講演「燃え尽きないためのレッスン」では、子どもの夢の構築のため学校、家庭、地域が連携し、子どもが努力できる環境づくりが必要との提言のもと、参加者三〇〇余名が教育について考えた。

県内六十四の小中高校から



開会挨拶（田鍋修推進会議会長）



新居浜教育会の発表

寄せられた関連写真や大会誌やパネル展、NHKギャラリー展で披露した。

「えひめ教育の日」推進フェスティバル

五年目を迎えた推進フェスティバルを十月二十八日（日）、エミフルMASAKIで開催。会場は、躍動感あふれるスタジオ「モガ」のダンス演技、美しい音色を披露した県内高校生合同トランペットアンサンブル、松前小学校金管バンド、科学の不思議を驚きと感動をもって体験学習した「センス・オブ・ワンダー教育研究所」のサイエンスショーや、八幡浜工業高校生の自律型ロボット、松山聖陵高校生の郷土芸能「虎舞」など、さまざまなイベントで盛り上げ、十一月の教育月間を祝った。

愛媛マンダリンパイレーツの選手たちも応援出演した。



開会式（エミフルMASAKI）



八幡浜工業高校「自律型ロボット」



県内高校生合同トランペットアンサンブル



ダンススタジオ「モガ」



松前小学校金管バンド



松山聖陵高校「虎舞」



「センス・オブ・ワンダー教育研究所」サイエンスショー